

として六月五日政めて別我三項月日満る付違致其を提起して申渡至迄迄辺申至  
 即初名の方表は会社は赴き申重役と合意し強固なる態度を以て交渉の結果合  
 社側は来る八月に回差をす旨を弱した。即代表は会社の回答は何れもして敢然  
 つて此言して引上りた程然合は回差は何れもしては死を賜して力難求を徹し為計  
 申す了決然である。

東京電報組合申渡電部

六(四) 旧電報組合員 並に撤す

- 一、二重債重金の撤廃  
 下段の務に要求する。如左の如  
 歩壇諸手南資子の借取を申付れ借入れたる二重債  
 被撤廃  
 台止
- 二、八幡台労働者の確立  
 台止
- 三、退職手当並賃子の借取支給  
 退職手当の借取支給(書子台申付れ借入れたる事)  
 台止
- 四、今更債重金の返却絶対反対  
 台止
- 五、今更債重金の生活保証  
 (且か最低賃金の確立)  
 台止
- 六、初任給制の即時実施  
 台止
- 七、下給社員の待遇改善  
 台止
- 八、兵庫島川の休日と公休と見直し  
 台止
- 九、健康保険の徹底的改善  
 台止
- 十、危険作業に對して特別手当支給  
 台止

労働者共済組合の全組合員署名

昨午八日の申渡以来会社の攻撃は日一日と激甚に成りて来る、本電報組合員組合の